

●防災訓練・応急救護訓練を実施

あきしま・街づくり市民会議・なかがみは、地域住民の防災意識の向上を図るために、毎年1回、防災訓練を自治連第5及び第6ブロック内の各自治会と協力して開催しており、本年は、中神小学校で14回目の防災訓練を11月23日(土)に実施することとしておりました。

当日は雨天のために予定した訓練が行えず、応急救護(AED操作)訓練とスタンドパイプ操作訓練を体育館で実施しました。



▲ブロック自治会から122名が参加

前日から続く雨の中、参加される人が少ないのではと危惧しましたが、各自治会役員さんのご尽力で前回の防災訓練実績を上回る122名の参加がありました。

とくに中神親和子供会役員さん等が積極的に呼びかけて数十人の児童が参加され、若い世代への防災意識の広がり・浸透に感謝します。

北村実会長から開催の挨拶、次いで、森光雄第6ブロック長のご挨拶があり、その後、昭島市のスポーツ推進委員の奥秋千代子さんを中心に全員でラジオ体操を行い、体をほぐして訓練に臨みました。



▲AEDの使い方のレクチャーを受ける

AED訓練では、心臓マッサージ(胸の真ん中に片方の手の掌を当て、両手を重ね体重をかけ5cm程深く押し込む繰り返しを1分間に100回程度のテンポで実施)の模擬演習を行った方々から、「圧迫が強すぎて肋骨が折れないか」、「何分も継続してするのは不可能」等々多くの意見・感想がありました。

スタンドパイプ操作訓練では、丸めた1本20メートルあるホースを伸ばしたり、スタンドパイプを模擬消火栓に着脱したり、送管ノズルの放水口の操作をしたりと、実際に放水することはできませんでしたが、皆さん真剣な面持ちで体験していました。



▲スタンドパイプ操作のレクチャーを受ける

最後に、大神出張所の海老沢担当官から訓練の講評をいただきました。昭島市内で今年度発生した29件の火災の原因に、コンセントにたまったほこり、タコ足配線等でのショートがあるので注意が必要、年末に向かって一層の防火意識を持つようにとのお話で訓練を終了しました。

(防犯防災部会部長/岩堀吉一 写真/広報部会)